



奈良県感染症情報

令和元年 第 28 週(7 月 8 日～ 7 月 14 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 6 月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

手足口病警報発令中です！！

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	10.91	(9.32)	↑	↑	↗	↗↗
2	感染性胃腸炎	4.15	(3.97)	→	→	→	↓
3	ヘルパンギーナ	2.50	(1.88)	↑	↑	↑	↘
4	A 群溶連菌咽頭炎	1.74	(1.71)	→	→	→	↘
5	伝染性紅斑	0.91	(0.71)	↗	↗	↘	→

発生状況: 大流行 流行 やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、→横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

手足口病は報告数の多い状況が続いており、先週よりもさらに増加しています。また、手足口病と同じくエンテロウイルスが原因であるヘルパンギーナの報告数も増加しています。

伝染性紅斑の報告数が増加しています。特に奈良市保健所管内での増加が大きく、定点あたり報告数が「2.0」と大きな値となっています。伝染性紅斑は、両頬にリンゴのように赤い発疹が出ることから、「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれることもあります。感染力(ヒトにうつす力)は、発疹が出現する7～10日ほど前の微熱や風邪の様な症状などがみられる時期に強くなります。感染しても、ほとんどの場合は軽い症状ですみますが、妊婦の方は注意が必要です。妊婦の方が感染すると、胎児の異常や流産を引き起こす場合がありますので、感冒様症状のヒトとの接触を避けるようにし、注意して下さい。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

夏かぜの流行が続いています。手足口病は幼児とその保護者で多く、ヘルパンギーナは小学生で多くなっています。両疾患の原因ウイルスは異なるようで、今シーズン別々に感染が確認された子が2例みられました。小学生高学年以上では突然の高熱と頭痛を訴える所謂夏かぜと思われる人が増えてきました。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

手足口病はわずかに減少傾向。

家族内感染で成人にもみられる。症状はやや軽症に転じてきた印象。

提出した咽頭検体からはコクサッキーA6が分離された。

水痘が増加してきた。家族の判断で手足口病と思い、経過が遅くなったの来院がたまにある。

感染性腸炎も流行。A 群溶血性連鎖球菌もある。

職員で、8歳の息子が突発性発疹の経過をとり10日後に同じ発熱・発疹の経過の43歳母親からHHV7が分離された。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

手足口病の流行が続いている。髄膜炎の合併はみられないが、食欲不振、熱性けいれん、胃腸炎症状は多くみられている。

ヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症も多い。発熱以外の症状のないウイルス性咽頭炎も夏かぜと判断、対症療法で軽快している。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 1 年 第 28 週 7 月 8 日 ~ 14 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	2 (0.04)		1 (0.07)		1 (0.10)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	6 (0.18)	2 (0.22)	3 (0.33)		1 (0.17)			
咽頭結膜熱	27 (0.79)	2 (0.22)	6 (0.67)	4 (0.57)	13 (2.17)	2 (2.00)		
A群溶連菌咽頭炎	59 (1.74)	10 (1.11)	12 (1.33)	11 (1.57)	22 (3.67)	1 (1.00)	3 (1.50)	
感染性胃腸炎	141 (4.15)	27 (3.00)	33 (3.67)	40 (5.71)	40 (6.67)		1 (0.50)	
水痘	11 (0.32)	5 (0.56)	1 (0.11)	5 (0.71)				
手足口病	371 (10.91)	98 (10.89)	69 (7.67)	109 (15.57)	73 (12.17)	3 (3.00)	19 (9.50)	
伝染性紅斑	31 (0.91)	18 (2.00)	6 (0.67)	2 (0.29)	2 (0.33)		3 (1.50)	
突発性発しん	23 (0.68)	7 (0.78)	6 (0.67)	2 (0.29)	6 (1.00)		2 (1.00)	
ヘルパンギーナ	85 (2.50)	19 (2.11)	26 (2.89)	19 (2.71)	19 (3.17)		2 (1.00)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)				1 (0.17)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	7 (0.70)	2 (0.67)	1 (0.33)	3 (1.50)	1 (0.50)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)				
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)						1 (1.00)	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市2、中和1、内吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病1件(奈良市1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1) 後天性免疫不全症候群1件(中和1) 風疹1件(奈良市1)

❖ 第28週のトピックス ❖

◆国立感染症研究所：成人男性も風しんの予防接種を受けましょう
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubella-m-111/700-idsc/5544-rubella->

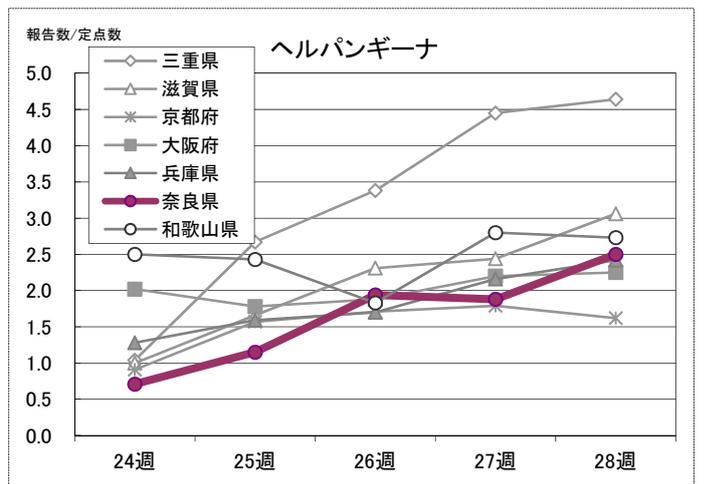
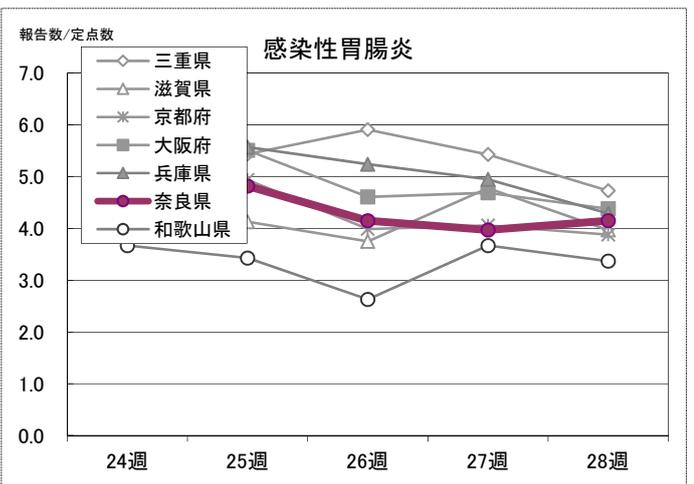
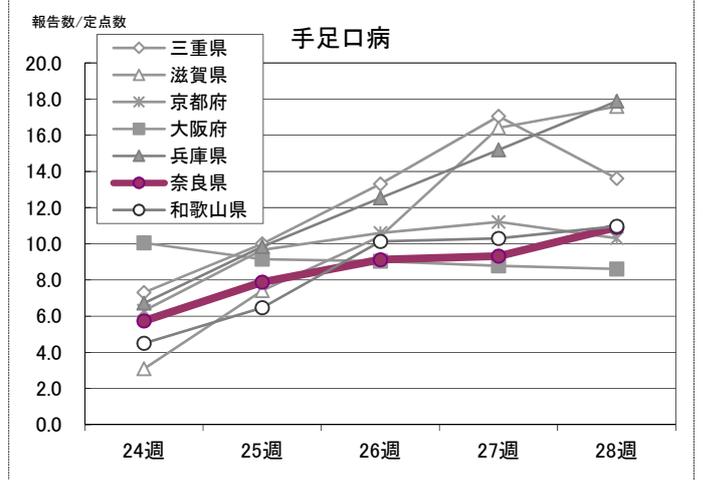
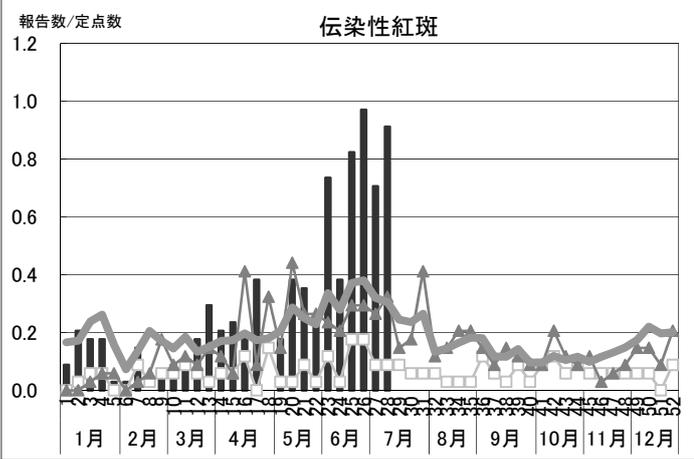
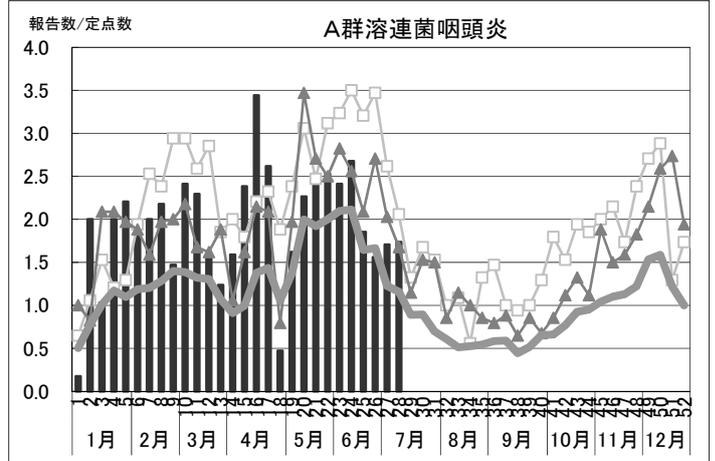
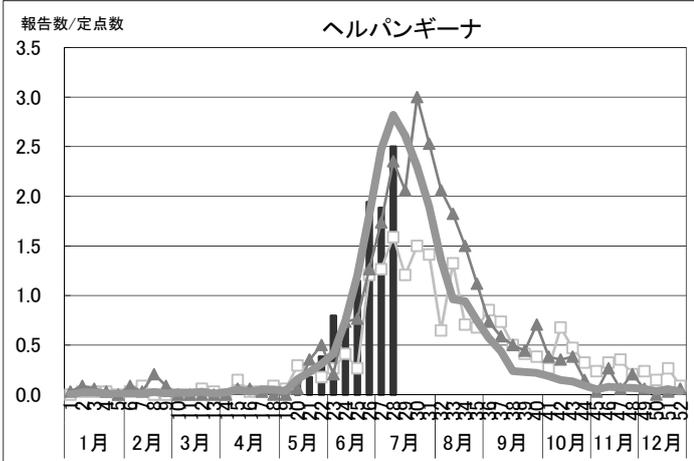
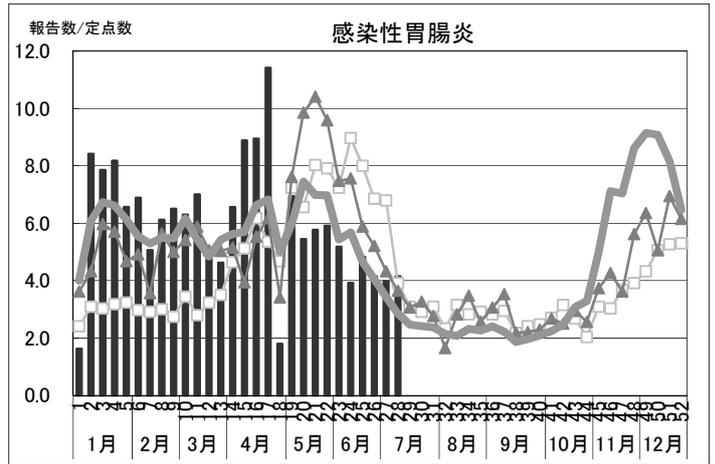
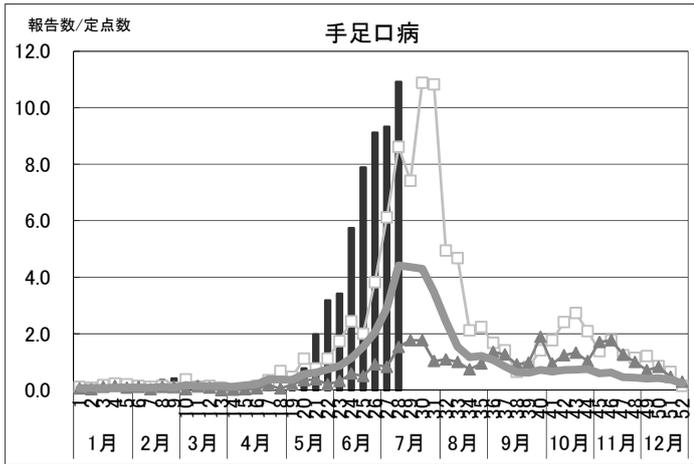
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段：報告数
 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
		インフルエンザ	男																					
	女				1									1									2	5856
RSウイルス感染症	男		1	2			1																4	230
	女			2																			2	194
咽頭結膜熱	男		1	1	2	2	4	5															16	276
	女			2	2	3	1	1			2												11	204
A群溶連菌咽頭炎	男		1	2	2	4	8	5	4		2	1	4										33	1047
	女			2		6	6	3	3	1	2		2										26	785
感染性胃腸炎	男		12	9	4	7	6	5	6	3	3	2	6										68	2997
	女	1	5	9	10	8	4	8	3	1	2	5	6										73	2712
水痘	男					1	2		1	1													5	161
	女					2		1		1	2												6	112
手足口病	男	2	24	68	28	29	15	12	9	3	1	1	5	1	2								200	1038
	女	5	16	55	41	22	9	9	8	1	1	1	2		1								171	890
伝染性紅斑	男		1	2		2	1	2	4		1	1	2										16	152
	女			1		1	3	3	3	1	1		1										15	129
突発性発しん	男		3	10	2																		15	197
	女		3	5																			8	161
ヘルパンギーナ	男		6	12	2	3	10	6	3	3			1										46	187
	女		4	8	6	6	6	2	2	1	1		1										39	158
流行性耳下腺炎	男						1																	23
	女																						1	24
急性出血性結膜炎	男																							
	女				1										1	1	1						4	94
流行性角結膜炎	男																							3
	女																							87
細菌性髄膜炎	男																							2
	女																						1	4
無菌性髄膜炎	男																							4
	女																							2
マイコプラズマ肺炎	男																							17
	女																							18
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							46
	女			1																			1	33

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 31 年 6 月

	奈良県		北部			中部			南部			上段：報告数 (下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数													累計は、2019年1月からの累計		
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計		
性感染症定点数	11	3	3	2	3	0	0																				
性器クラミジア感染症	13 (1.18)	1 (0.33)	7 (2.33)	1 (0.50)	4 (1.33)	男							3	2		3								8	42
							女				3		1				1								5	48	
性器ヘルペス	8 (0.73)	4 (1.33)	1 (0.33)		3 (1.00)	男																		2	4
							女					1	1	1	1						1				6	27	
尖圭コンジローマ	1 (0.09)				1 (0.33)	男																		3	3
							女														1				1	10	
淋菌感染症	6 (0.55)		4 (1.33)		2 (0.67)	男										1	1	1	1					4	20
							女				1				1										2	6	
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	41 (6.83)	20 (20.00)	6 (3.00)	6 (6.00)	7 (7.00)	...	2	男	2																27	195	
							女	2							1	1								8	14	91	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3 (0.50)		2 (1.00)		1 (1.00)	...		男																	2	13	
							女																	1	1	13	
薬剤耐性緑膿菌感染症						...		男																		1	1
						...	女																				

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

